

ゼロカーボンの実現に向かうまちへ

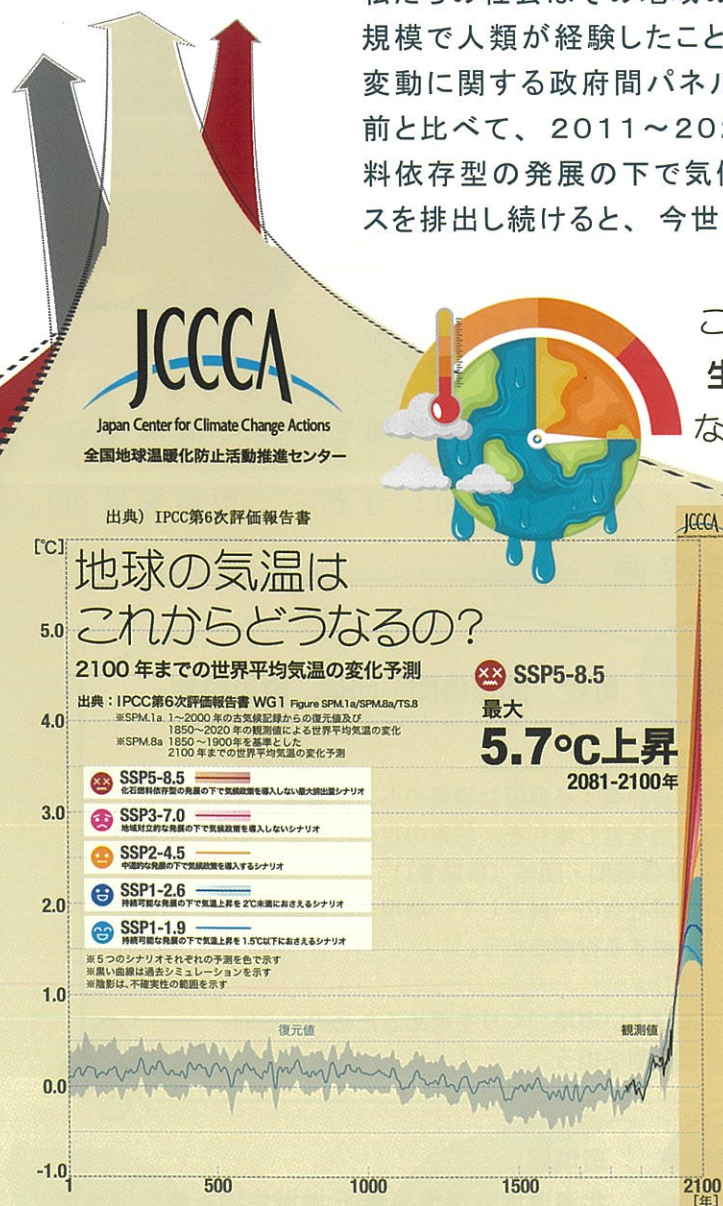


人間活動による排出量



私たちの社会はその地域の気候の上で形づくられています、今その気候が地球規模で人類が経験したことのないものになりつつあるといわれています。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告書によると、世界平均気温は工業化前と比べて、2011～2020年で1.09℃上昇したとしています。人類が化石燃料依存型の発展の下で気候政策を導入しないで、二酸化炭素などの温室効果ガスを排出し続けると、今世紀末までに3.3～5.7℃の昇温を予測しています。

このような急激な気候変動は、さらなる種の絶滅や生息・生育域の移動・減少・消滅などを引き起こすなど生物多様性にも甚大な影響を与えてしまいます。



人類喫緊の課題気候変動への対策は？

緩和 と 適応

緩和策：化石燃料の使用を極力減らすあるいは放出した温室効果ガスを吸収する取組により、大気中のガス濃度を増やさない。(世界のエネルギーの共通課題)

適応策：それぞれの地域に応じた気温上昇の影響への適応(地域に必要な対策)をしていかなければなりません。

日々の暮らしの中で、省エネルギーや環境に負荷をかけないこころがけなどを実践することも、ネイチャーポジティブの実現につながっています。

栗山町ネイチャーポジティブの取り組みは栗山町公式ホームページでもご覧いただけます

栗山町 ネイチャーポジティブ 検索



ネイチャーポジティブの実現に向けて

〒069-1512 北海道夕張郡栗山町松風3丁目252番地(役場新庁舎2階)
電話番号：0123-76-7065(直通)

発行：栗山町環境生活課ゼロカーボン推進グループ

ZERO CARBON HOKKAIDO KURIYAMA

ネイチャー
ポジティブ宣言
supported by J-GBF



ハサンベツ里山めぐり(葉散別倶楽部)

人と自然が
共生するまち

ネイチャーポジティブの実現に向けて

栗山町の自然環境保全・再生の取り組みは町内外に誇れる活動となっています。この取り組みを次世代につなぎ、未来を守るため今こそネイチャーポジティブの実現に向けて取り組もう！

このパンフレットはサマージャンボ宝くじの収益金を活用して作成しています。



栗山町

NaturePositive
北海道で一番最初の宣言自治体



ネイチャーポジティブとは？



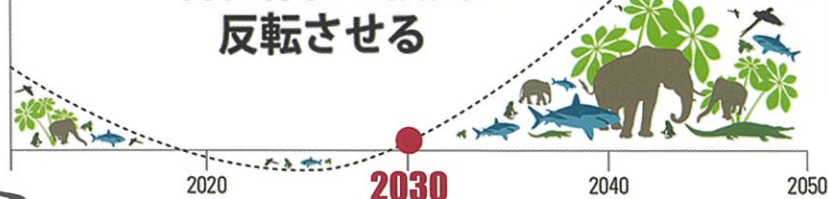
2030生物多様性枠組実現日本会議（J-BGF）ロゴマーク

2030年までのネイチャーポジティブに向けた自然のための測定可能な世界目標

生物多様性の指標

2020年を基準年に、
2030年までに
生物多様性の損失を
反転させる

2050年
までに
完全回復



出典：WWF ジャパン「生きている地球レポート（2022）」

日本語訳では「自然再興」と訳され、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」ことで、環境にとってポジティブ（プラスの状態）にしていくという考え方です。生物多様性の保全再生だけでなく、地域の魅力や地元産業の付加価値の向上、教育、福祉、防災・減災などの社会課題にも貢献できるとされています。

「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター

だいだらポジー

DAIDARAPOSIE

環境省では、国民一人ひとりが「ネイチャーポジティブ」に資する消費・選択をできる経済社会づくりをするため、イメージキャラクターとその愛称を公募し、「だいだらポジー」がイメージキャラクターとして決まりました。「だいだらポジー」は、日本各地で山や湖、川を作ったとして伝承になっている巨人「だいだらぼっち」がモチーフで、地球のポジティブな未来を抱きしめて見守り続けるキャラクターとして制作されました。

まちづくり応援ポイント



くりポ

- ◆町政・まちづくり推進ポイント
- ◆ネイチャーポジティブ推進ポイント
- ◆健幸のまち推進ポイント
- ◆町民応援ポイント

ポイント区分

くりやまネイポジポ NaturePositive POINT CARD

「くりやまネイポジポカード」
（ポジポ）

新商店街地域カード

- ◆ポイントカードとして
- ◆電子マネーとして
- ◆ギフトカードとして

お得な使い方

名称の由来

くりやまネイポジポカードは、くりやまネイチャーポジティブポイントカードの略称で、北海道の地方公共団体に先駆けて表明した「栗山町ネイチャーポジティブ宣言」に掲げる「自然を守り、次代につなぐまちづくり」に貢献するカードを目指していくため、この名称を採用しました。

※栗山町まちづくり応援ポイント（くりポ）
くりやまネイポジポカード（ポジポ）の詳細は
栗山町公式ホームページでもご覧いただけます。



ハサンベツ里山20年計画

経過

- ▼1999（平成11）年
環境省（当時：環境庁）の支援を受け、ハサンベツ地区など約24haを購入。
- ▼2001（平成13）年
町民が主体となり、「官民協働の里山20年計画」を策定。（コンセプトは「童謡の唄が聴こえる里山づくり」）
計画を具体化する実行委員会を設立。（「できることからやろう！」「知恵・労力・資材・資金を生み出して持ち寄ろう！」という自由度の高い活動を基本に活動）

主な取組

- 川の護岸改修（自然河川復元）や里山環境整備（田畑整備、水車づくり）
- 町民の寄附（50haの森など）
- 環境省の生物調査研究フィールド（モニタリングサイト1000）
- 毎月第2日曜日は「ハサンベツの日」



サケが帰ってくる川づくり

経過

- 魚道のなかった清幌床止の下流までサケが遡上してきていることを知る。
- 「サケの自然回復」を「ふるさとの川サケ」を再生していく事業のシンボルとして活動が始まる。
- ▼2014（平成26）年
栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会が、国土交通省より「河川協働団体」の指定を受ける。
- ▼2015（平成27）年
栗沢頭首工に魚道が整備される。72年ぶりに栗山町の川にサケが遡上。
- ▼2018（平成30）年
タ張川流域の雨煙別川が「かわまちづくり計画」として登録
- ▼2025（令和7）年
タ張川自然再生協議会が、国土交通省より「河川協働団体」の指定を受ける。

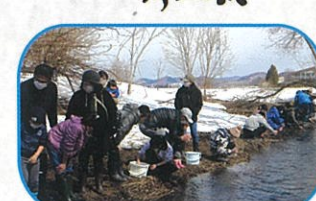
主な受賞歴等

- ▼2004（平成16）年
北海道新聞社 北の未来奨励賞
- ▼2007（平成19）年
農林水産省「立ち上がる農山漁村」事例認定
- ▼2009（平成21）年
財団法人コカ・コーラ教育・環境財団 コカ・コーラ環境教育賞優秀賞
- ▼2010（平成22）年
環境省「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰
- ▼2011（平成23）年
田園自然再生活動コンクール 農林水産大臣賞
- ▼2017（平成29）年
緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰
生物多様性保全上重要な里地里山（重要里地里山）に選定
- ▼2022（令和4）年
NHK「さわやか自然百景」で「北海道 ハサンベツの里山」放映
- ▼2025（令和7）年
国土交通大臣賞「手づくり郷土賞（一般部門）」受賞

栗山町のこれまでの取り組み



手づくり郷土賞



「ホテル舞い、サケが遡上する郷土の川～童謡のみえる里山づくり～」
令和7年度 国土交通大臣表彰
「手づくり郷土賞」受賞

主な取組

- タ張川フォーラム・シンポジウムの開催
- サケの里親事業及びサケの稚魚放流会の実施
- タ張川流域での小中学生を中心とした川体験学習の実施
- サケの見える化プロジェクト～故郷の川クリーン大作戦～（河川清掃など）の実施
- サケなどの産卵床調査及び産卵床形成のための市民工事の実施

ネイチャーポジティブの実現に向けた取組

栗山町では、町民有志が中心となって活動を展開している取組がたくさんありますが、このような取組が持続可能な発展を遂げていくためには、長い時間をかけて形成されてきた多様な生態系を保全し続けていくことが必要です。そのためには、町民、関係機関・団体、町がそれぞれの役割を担いながら、取組を進めていくことが重要です。

目指すべき将来像

Goal

人と自然が共生するまちくりやま

【基本目標】

- （基本目標1）自然を守り、次代につなぐまちづくり
～自然環境の保全・再生、河川環境の整備
- （基本目標2）ゼロカーボンの実現に向かうまちづくり
～地球温暖化対策の推進、持続可能な農業生産体制の構築、森林の保全・整備
- （基本目標3）資源を大切に作るまちづくり
～ごみの減量化・資源化の推進

Role

町民、関係機関・団体、町の役割

- （町民）
自らが有する良好な環境のもとで健康で文化的な生活を営む権利を、将来の世代に継承する役割を担う。（関係機関・団体（事業者））
地域社会の一員として、環境への負荷の少ない社会を形成する役割を担う。
- （町）
よりよい環境づくりを進めるための中心的な役割を担う。

Message

栗山町の豊かな生物多様性を次世代へ



環境省
北海道地方環境事務所 地域生物多様性増進室
自然環境調整専門官 長谷部 真

栗山町ではこれまで永きに渡り、国蝶オオムラサキが生息するハサンベツ里山づくり、サケの稚魚放流などの活動がなされてきました。また栗山公園にあるオオムラサキ館や再生された旧雨煙別小学校などは、札幌から近いこともあり、とても魅力的な自然体験や環境学習の場となっています。これらの活動は、世界的なキーワードであるネイチャーポジティブに合致するものであり、その自然からの恵みは他の地域にも波及することでしょう。今後も人と自然が共生する町、ネイチャーポジティブの実現に向けた栗山町の取組が注目されます。